

3学年通信

Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

3 学年通信 47 号 通算 227 号

2017. 8. 18 (金) +152 点

Dreams Come True 20 横山

1 はじめに

今年特別な夏でした。そう、南東北インターハイ。数十年ぶりの大きなイベントがここ山形で開催され、多くの米興生が出場・補助役員として参加しました。以前にも書いたように、そのスタートは7年前です。私がまだ44歳のときで、3年生諸君は鼻水を垂らしていた頃からののですよ？この間、ホッケー競技においては、県ホッケー協会関係者はもちろん、川西町&米沢市職員のスタッフの皆さん、各部保護者の方々などと共に、気の遠くなるような時間をかけて準備きたのです。ですから、開会式を迎えたときは感無量！になるはずが人生は思ったようにならないものですね。



そういった事情で私は途中から参加となりましたが、全国トップ校の試合は見応えがありました。また、開会式から閉会式まで、置賜地区の各高校生が一生懸命お手伝いしてくれたことがすごく印象的でした。多額の費用をかけたイベントではありますが、お金だけではできないものではありません。お金第一！何てムード漂う世の中ですが「人と人の結びつきの大切さ」を実感した夏になりました。

2 Topics Of 興譲館 (夏季休業中の主な活動) 興譲館生がんばる！！

(1) 南東北インターハイ (7/29~8/3)

○陸上競技 (天童市) : S N <女子 100mH 準優勝 14" 01、同準決 13" 80 自己ベスト>

- ・「祝 準優勝 おめでとう!!」努力は報われる。まさに「不撓不屈」の精神で得た結果に感動。
- ・「S N<米沢興譲館> けが克服、涙の銀」(山新)
- ・「米沢興譲館・S N 負傷乗り越え2位 東京五輪目標」(日刊スポーツ)

○フェンシング (気仙沼市総合体育館)

- ・EM (女子エペ) 予選リーグ2勝2敗で予選トナリ進出。惜しくも2回戦で敗退。
- ・OH (男子フルール) 惜しくも予選トナリ進出ならず。これからの活躍に期待。
- ・KA、WA、MH、GY、SR、EM (女子団体)

1回戦 滋賀県代表に5-2で勝利。2回戦 東京代表 東亜学園に4-5で惜敗。それぞれが粘りに粘って4-4で迎えた第9戦目。サドンデス戦になる大熱戦でした。シード校にもう一歩及ばなかったもののその悔し涙はそれぞれが次なる成長へと繋がるものでした。

(2) 全国高校総合文化祭 (8/2・3・4 石巻専修大)

○山形県サイエンスフォーラム 科学専門部の部で最優秀賞・優秀賞を受賞した2つが発表。

- ・SY (3-1)「生体を模倣した神経幹細胞の培養」
- ・WC (3-1)「焼成時間及び焼成温度が米粉100%パンの製パン性に与える影響」

(3) 全日本吹奏楽コンクール県大会 (7/31 県民会館大ホール)

- 「金賞」を獲得するが、惜しくも東北大会出場ならず。
先輩の思いを新たなメンバーで引継ぎ、これからもがんばってください。

(4) 置賜地区高校美術展 (ナセ BA)

- 地区内11校の生徒たちの作品119点が展示。
・MSさん(3-2)が「特選」を受賞。
・UT、TM、TKさんが「奨励賞」を受賞しました。

(5) 全国SSH生徒研究発表会 (8/9・10 神戸国際展示会館)

- 2年連続でポスター賞 (全国から21校) を受賞。
・KY、SK、TT、HS (3-1)「透明骨格標本の作製技法の検討」

実はこの「Topics Of 興譲館」は横戸校長先生がおまとめになられたものです。昨日の職員会議で先生方にご提示されたものを「始業式で3年生諸君にお知らせしたいので！」とお願ひして頂きました。ありがとうございます。(私が先生に言うようなことでは無いのですが)生徒のことをよく見て応援して頂けることはすごく嬉しいです。見られていても見られていなくても…、何てのはカッコイイですが、実のところ「見て応援して褒めてもらいたい！」という気持ちは誰にでもありますよね？50のオッサンでも「俺を褒めてよ！」なのだから？

3 結びに

この短い夏の間、幾人かの卒業生と話をする機会がありました。私なんかは卒業してから教育実習まで一度も来校したことは無いけれど。でも、そのように学校に来てくれる生徒には、ある傾向があるようにも思いました。それは「真面目で優秀な米興生では無かったよね？」という子の率が高いということです。8月のお盆頃には各部でOB OG戦などがあるけれど、そこに来てくれるのもそんな子達が多いかもね。そう感じたのは「いや～興数出さなかったな」とか「毎日遅刻して怒られた」や「部活を引退してから受験モードに全然入れなくて…」などと懐かしそうに話しているから。そんな子達だけれど、今は大学生や社会人としてバリバリ活躍して人生を謳歌している。そんな様子を見て聞いていると「高校生活で人生の全てが決まるわけじゃないよな」という気持ちになる。これもまた、私が3年生諸君に言うようなことでは無い気もするけれど？高校から次へのステップは大きな分岐点だと思う。だから、その分岐点で「自分が進みたい道」へと歩むためにも(学ぶことが大好き！という人もいるからね)諸君はこの夏、一途に学んだはず。それは長い人生の中で「こんなに勉強したのは初めて！」は大切なレッスン。知力はもちろん体力も耐力も養えるし、何より「私、結構頑張れるんじゃない？」という一生の自信になるから。だから今やれることはやれるだけやった方がいい。けれど、結果として自らの理想とする自分になれなかったとしても(望む道を歩めなかったとしても)、そこで道が閉ざされるわけでは無いんだ。そこに悔しさがあつたら、自分に与えられた道でもう一度頑張ってみればいい。私は第一志望を実現して「のほほん」としている人より、第一希望じゃなかったからって「愚痴ばかり」言っているような人より、「何クソ！」って次のステージで、または一生かけて頑張っている人が好きだ。この夏出会った優等生じゃない卒業生達は「頑張っている俺の今を見て欲しい！」そんな気持ちで会いに来てくれたんじゃないかと思う。だから私は「いいぞ！」って褒める。終